



六中だより

～自主・勤勉・共生～

No. 5

令和5年11月発行
港区立六本木中学校
校長 松島 智子



実りある生活を



校長 松島 智子

今年の夏は暑すぎて、様々なところに影響が出ています。農作物もその一例で、今夏の気温の上昇、日照りが続いたため、思うような出来にならず困っている状況があり、スーパーに行くと野菜の値段の高さにびっくりします。また、紅葉も心配されましたが、このところの寒暖差でようやく始まりを見せているというところでしょうか。六本木中学校の正門にある大銀杏の木も少しずつ色づき始めました。黄金色に色づくのが楽しみです。

先日、行われました合唱発表会にはたくさんの保護者にお越しいただき、ありがとうございました。久しぶりに地域の来賓の方にも参観していただくことができ、生徒のやる気も最高潮に高まりました。参観していただいた方からは「素晴らしかった。やはり公開はいいですね。」と皆さん口をそろえておっしゃっていただきました。本校の合唱は、コンクール形式ではなく、各学年の発表形式です。だからというわけではありませんが、よくあるクラスのギスギス感やピリピリ感はありません。指揮者、伴奏者、歌手のそれぞれが練習を重ねていき、一つの作品を仕上げていく向上心と達成感が感じとれます。短い練習期間の中で、各学年とも4曲ずつを完成させるということは、本当に難しいことでした。しかし、生徒たちはうまくいかないことを責めることもなく、互いに励まし合い、カバーし合ってこの発表会に臨みました。当日は、皆気持ちよく、晴れ晴れとした表情で歌っており、観客の方に感動すら与えてくれたのではないのでしょうか。

そして、この音楽発表会には、実はもう一つ大事な意義があります。各学年で歌う4曲の中には新しく追加される曲と毎年変わらず歌い続けられる曲があります。したがって、1年生から3年生まで歌える曲が必ずあるわけで、上級生は下級生が歌う曲を懐かしいと思って聴き、下級生はいずれ自分たちもあの曲を歌うことになるんだという心構えをしながら聴くことになるので、自然と聴く姿勢は真剣になります。今年も発表会当日の午前中には全校で「夜汽車」と「変わらないもの」の2曲を全校生徒で歌いました。これが合唱発表会のもう一つの楽しみであり、全校生徒が歌で一つになる瞬間を体験できます。全校生徒の声が体育館中に響き渡り、何とも言えない心地よさと温かさに包まれ、六本木中学校の伝統がここにも受け継がれていることを実感することができます。

この先も、先輩方が残してくれた伝統を絶えさせることなく、次年度への期待に胸を膨らませながらこれからも歌って行ってほしいと思います。しかし、歌だけ一生懸命やればよいというわけではなく、日頃の授業や学校生活でもしっかり取り組んでいきましょう。

		
最後の合唱発表会（3年生）	発表前の3年生円陣	♪全学年で歌います♪

10月9日（月）から11日（水）にかけて3年生は京都・奈良方面へ修学旅行に行っていました。新型コロナウイルスがおさまってきたこともあって、海外からの観光客が戻り、どこに行っても人がたくさんいらっしゃいました。10月とはいえ今年は暑い日が続き紅葉にはまだ早かったのですが、1日目の奈良では法隆寺、東大寺の壮大な佇まいに触れ、2日目の京都ではそれぞれの班で考えたコースをガイドなしに自分たちだけで巡り、3日目はタクシーガイド付きで、京都市街を満喫しました。今回の京都・奈良の修学旅行は、この学年が最後になるということで、非常に感慨深いものがあります。2日目の青蓮院ではお坊さんの講義を聞いた後、お抹茶とお菓子をいただき、最後はお琴の演奏を拝聴しました。ライトアップされたお庭をバックに奏でられたお琴の演奏は、別世界に引き込まれたような感覚になりました。京都ならではの華やかな中にも侘び寂びを感じさせてくれる時間でした。短い時間でしたが、この3日間は貴重な体験ができ、中学校生活一番の思い出となったことでしょう。しかし、まだまだ関西には奥深いものがたくさんあります。また行く機会があったら、再発見してみてください。

		
3年 修学旅行（東大寺）	3年 修学旅行（青蓮院）	3年 修学旅行（北野天満宮）

さて、11月12日（日）には、麻布地区総合防災訓練がこの六本木中学校を会場にして行われます。昨年度もたくさんの地域の方に来ていただき、地震の疑似体験や消火訓練、防災に関する知識やいざというときに役立つグッズの紹介なども行います。六本木中学校も生徒会役員を中心にボランティアとして参加しています。災害はいつやってくるかわかりません。実際に避難生活となれば、地域の皆さんと協力しながらの生活になります。防災に不可欠なのは、まずは自分の命を守ること、そして人と人が助け合うことで、多くの人の命を守ることができるということが言われています。「守られる人」から「守る人」へ、中学生のあなた達に期待する地域の方々の声に応えられるように、日頃から自分たちができることを考えてほしいと思います。今年の防災訓練にぜひとも参加してみてください。

